

教育活動に関するアンケート（学校評価） 自由記述結果への回答

※たくさんのご意見・ご感想をいただきありがとうございます。教職員全員で拝見いたしました。質問は項目ごとにまとめ、代表して副校長から回答させていただきます。なお、児童、教員個人やクラスが特定される可能性のある記述は掲載を控えさせていただいております。ご了承ください。

<p>1 安全面について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後ひろばへ子供のお迎えに行く事があるのですが、部外者でも門を自由にすることが出来るのではと少し心配があります。(防犯カメラ設置監視等で対策されているようでしたら、大変失礼しました) ・夏休みの学童の出入りは、正門からできないのでしょうか？ ・門扉のセキュリティが弱い。
<p>→学校からの回答</p>	<p>本校は施設の構造上、多くの出入口がありますが、全ての教室に扉の鍵を設置し、児童の登下校の時間以外は東門を施錠、通用門についても常に閉めた状態にすることも徹底しております。また、常時、正門・東門を含め防犯カメラが複数作動しております。</p> <p>夏休みの学童の出入りにつきまして、学童職員と協議しました結果、登所・降所時の児童の安全管理上、学童通用門をご利用いただきますよう、お願いいたします。何かのご事情でどうしても正門をご希望の場合は、直接学童にご相談くださいとのことでした。</p>
<p>2 生活指導について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の子供が夜までわんぱく公園前でたむろして遊んでいて、元気なのはいいですが、自転車も置きっ放しで危ないし、スケボーや鬼ごっこなど、道路に出て遊んでいて、結構交通量もそこそこあり、危ないです。いつか事故になりそうで、気になります。学校で注意してもらえたらありがたいと思います。 ・自分が子どもの頃と比べると、持ち物に対するルールが多いと感じます。(鉛筆やノートのキャラクターものは不可、筆箱は箱型タイプ 等) 確かに 授業への集中やいじめ対策という意味ではそのほうが良いのかもしれませんが、自分が気に入った文房具で勉強に取り組むのも1つのモチベーションですし、仮に使いつらいものがあつたら、それは「この文房具は勉強には向かない」という子どもの学びに繋がることだと思います。せめて高学年になったら自由帳・鉛筆・筆箱くらいは自分の好きなものを使用して良いことにするとか、子どものモチベーションに繋がることを検討してほしいです。 ・登校の際の荷物もタブレット、教科書、ドリル、ノートなどなど毎日多く重く、もう少し精査しても良いのではないかと思います。 ・子どもの荷物が年々重たくなっているのは気になっています。特に月曜日にたくさんの荷物が重なるときは子どもも辛そうなので、持ち物の分散も考えていただけると助かります。
<p>→学校からの回答</p>	<p>放課後の過ごし方や公園の使い方については、学校でも全学年対象に全校朝会での指導、各学級での学年に応じた指導を繰り返しております。放課後の生活安全については保護者・地域の皆様からの声掛けやご指導も必要だと考えます。お子様が、自分も友達も、周囲の人々も安全に公園を利用できるよう、各ご家庭でもお話しください。</p> <p>好きな学用品で学習のモチベーションが上がるお子さんもいれば、逆にキャラクター等が学習に向かう集中力を下げてしまうケースもあります。学校には多様なお子さんが在籍するため、授業で使う学用品はシンプルな物をお願いいたします。好きな学用品で学習のモチベーションが上がることは素敵なことですので、ぜひ家庭学習でご利用ください。</p> <p>毎日の荷物の軽減については「置き勉(学校に置いて行く学習道具)」等の対応をさせていただいております。タブレット本体やランドセル自体が重いこともあり、宿題で使うもの以外の教科書類は置いていくと、すべての学年で統一しています。また、タブレット端末を持って来ない日も設定したり、必ずしも体育着を月曜日に持って来なくてもよいことにしたりする等の工夫もしております。今後も、子どもたちの負担にならないよう検討し、学校に置いていけるものがあれば、置いていくように改善いたします。</p>

<p>3 コロナ対応について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応について、変更点がある場合にはその都度伝えてほしいです。生徒に感染者がでたり学級閉鎖の場合にも突然連絡が来なくなって戸惑いました。 ・コロナ感染による学級閉鎖についてプライバシー保護も分かるがせめて学年は教えて貰いたい。子供が風邪なのかコロナの可能性が高いのか判断しづらい。そもそも言うてはいけないと言うことが感染が悪いことであるかのようで、差別的だと感じる。 ・コロナが流行り始めた当初の過剰な感染対策が続き少なからずとも子ども達の心や身体の成長に負担が起きていないか心配です。校長先生が全校集会でマスク警察について話してくれましたが、その3週間後に男の子が「マスクしろよー」と言って相手の男の子がクラスへ向かうのを阻んでいたそうです。娘がその子の前を歩いてあげ通してあげたそうです。マスクをするよう指導してきたと同じように、こういった事も常に話をしていないと子ども同士のマスク警察は無くならないな、と思いました。またアルコール消毒で手荒れを起こしなかなか治らないお子さんも知り合いで居ます。また、体育の授業でもマスクを外さず運動をしている事に危険を感じます。先生方が外せるよう子ども達に話す時間は十分にあるのでしょうか？他の学校では卒業アルバムの個人撮影でもマスクを外せない子が数名居たそうです。普段マスクを外す指導をしてきていないのに、写真撮影の時はマスクを外しましょう、と声を掛けていたにもかかわらず、外せなかったようです。大人が思っている以上に状況は深刻かと思えます。早く感染が落ちつけば、と言いますが、大人1人1人が判断し現場を変えていこうとしなければ何も終わらないと思えます。実際マスクをつけ続けて第8波がくるのですから。 ・新型コロナウイルス感染症対策については不信感を持っている。体調不良の児童が、平気で登校して来ると子供からよく聞く。また、今年度も学級閉鎖になっていることを考えると、子供の安全な学校生活が脅かされていると感じている。学校からも少しでも体調悪い場合は登校を見合わせるべきである旨周知徹底すべきだと思う。少しでも体調不良があれば登校を見合わせている家庭のことも考えて欲しい。 ・いろいろな行事が復活して、今年度は移動教室にも行くことができ、本当に良かったです。先生方も大変だったことと思えます。2学期は2度の学級閉鎖があり、特に2回目は土日を含めて5日間と長く、仕方がないことではありますが、子供たちの行動が長く制限されてしまうことがとても残念でした。
<p>→学校からの回答</p>	<p>マスク着用について、学級閉鎖や出席停止の期間や対象、それらを保護者の皆様にお知らせする方法等、コロナ対応に関するご意見は様々あるかと思えますが、向山小学校は練馬区立学校ですので、練馬区の感染防止ガイドラインに則って、対策を講じています。ご了承ください。</p> <p>先日、紙面にて全校の保護者の皆様に配布しましたとおり、屋外でのマスク着用については必須ではなくなりました。特に運動時、呼吸が苦しくなる可能性がある場合はマスクを外すよう教員からも声を掛けるようにしています。室内では、練馬区でもマスク推奨場面と定められています。学校では着用する場面と外す場面、メリハリのあるマスク着用を心掛けてまいります。ご理解いただけますようお願いいたします。今後、マスク着用の方針が変更になった場合は練馬区のガイドラインに則って対応してまいります。</p>
<p>4 体育着について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体操着、冬場に長ズボン着用を認めていないのはなぜか。子どもに説明ができません。 ・冬の体育でスポーツウェアの長ズボンの着用の許可を検討して頂きたいです。
<p>→学校からの回答</p>	<p>体育の授業では、運動の妨げにならないよう、ハーフパンツの着用を推奨しています。また、練馬区内の全ての小学校で体育の授業における長ズボンは推奨されておりません。本校では、体育の授業において冬季の寒い時期の長袖着用については、体育着の上に着るジャージ等の販売のご案内も含めてお知らせをしております。また、また、冬季はできるだけ運動量を増やして体を内側から温められるような指導を心掛けてまいります。ただし、長ズボンが必要な場合は個別にご相談ください。</p>
<p>5 学校だよりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りや学年便りなどのHP更新が遅いと感じる。子供へ配布直後更新されると良い。 ・向山通信/今月の予定は前日や当月ではなく、もう少し早めにいただきたいです。年間行事はいただいておりますが、同時に知りたいのは翌月の日々の時間割であり、病院の予約や習い事の兼ね合いなどギリギリでは不便を感じます。 ・学年だよりをまた作っていただけるとありがたいのですが… ・学年ごとの詳しい情報が知りたいので、学年だよりをまた作っていただきたいです。 ・向山通信のサイトへのアップが遅い。

<p>→学校からの回答</p>	<p>学校だより「向山通信」等は紙面が完成してからHPにアップロードされるまで手続き上数日間いただくため、ご不便をおかけして申し訳ありません。できるだけ早くアップロードできるよう努めてまいります。また、紙面による「向山通信」はできるだけ前月の内に配布できるよう心掛けていきたいところですが、コロナ禍以来、急な変更も多く、早めにお知らせすることで、かえって混乱を招いてしまうことにもなり兼ねないため、前月末頃に最新情報をお伝えしています。また、今年度10月号より「向山通信」に各学年の学習予定やお知らせ等を掲載する形をとらせていただいておりますが、区内では多くの小学校がこのような形に移行を始めております。詳しい情報をグーグルクラスルームに載せる学年・学級も増えております。そちらも是非ご覧になってください。</p>
<p>6 タブレット端末について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの宿題により、家庭学習や読書の時間確保が難しくなっています。 ・支給されているタブレットを見過ぎてしまっているため、1日に使用しても良い時間など制限があればありがたいです。 ・タブレットを持ち帰りいつでも使える環境は良いと思うが、ランドセルが重すぎるところが気になる。 ・学校が発行するプリントや練馬区からの通達などは、タブレット端末もしくは専用アプリに配信してほしい。下の子の保育園では連絡帳アプリが導入されていたので、技術的にはできるはず。家庭への重要な連絡は、子供を介さず、学校から保護者へ直接届くようにすべき。その方がトラブルも減るのでは。 ・今月に入ってタブレットでの学習や翌日の時間割などで触れる機会が増えたのはいいが、時間割について担任の先生からの連絡が遅いと思います。子どもは帰宅後すぐに宿題と時間割を合わせてから遊ぶという家庭でのルールを守ろうとしていますが、中々アップされない時間割のために、せっかくのやる気が下がっております。先生方もお忙しいとは思いますが、下校後すぐに子どもが確認できるよう配慮をお願い致します。 ・9月と10月にそれぞれ、クラスにコロナ陽性者が出て学級閉鎖になった際に、タブレット端末を活用し、オンライン授業でできることは対応してもらえて安心した。昨年は、ひと月で使えるギガに制限があり日常的にオンライン授業はできないと聞いていたが、その制限は撤廃されたのか。
<p>→学校からの回答</p>	<p>タブレット端末による宿題の配信は、どの学年でも計算ドリル等と併用して行われています。その分量については学年及び学級の実態や学習のねらい等に応じて調整してまいります。</p> <p>現時点では、児童一人一台タブレット端末に連絡・相談用アプリケーションは使用できません。その理由として、練馬区全校が同じものを配布されていて、本校だけが独自で既製の連絡用アプリケーションを独自で運用することはできないことと、独自でアプリケーションを作成することも不可であることが挙げられるためです。ご了承ください。</p> <p>児童用タブレット端末の1日当たりの使用時間制限については、各家庭により生活リズム等が異なるため、学校で一概に決定することは避けるべきと考えております。各家庭でテレビやゲームの時間等も含めタブレット端末の使用時間についても話し合っ てルールを決めて活用していただきたいと思います。</p> <p>児童用タブレット端末の、ひと月当たりの通信量の制限は、5GB から変更になっておりません。学校側の回線状況が少々改善されてきたため配信トラブルは少なくなっ てきていることから、昨年度よりはオンライン授業を多く設定できるようにはなってきました。但し、実際オンライン授業を行う時間数については、各学級の実態やそれぞれの学習内容によって異なってくることもあります。ご了承ください。</p>

7 教職員について	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は良くしてくれていると思うが、諸々の雑用などでいつも忙しそうです。急ぎでない用事はかなり後回しにされている感じがします。もっと先生の雑務を減らせる様なシステムを作ってほしい。(検温の確認ハンコなどは不必要に思う)ちょっとした相談も忙しそうな様子を見ると躊躇してしまう。 教師の負担が下がり、その分子どもたちにも目がゆく余力が生まれるような、働き方改革、現場仕事が楽になる方法の積極的な施策・改革をお願いしたい。 学校の教師は真面目で真摯に取り組んでくれていることが伝わってくる。ただ学校業務は昔からの慣習が多く無駄な作業が多く現場負担が大きすぎるように感じる。徹底した業務改革を行い一人ひとりの教師に任せるのではなく学校全体で学校業務の効率改善の施策を行い新たなルール作りや、学校だけでクローズすることなく思いつかない改善案などは積極的に外部や各家庭から案を出してもらい問題解決していくのが良いと感じる。そうすることで自然と家庭と学校の協力体制が生まれ、家庭が今の学校に全て押し付ける任せる興味を持たないというという悪習を崩していくきっかけになり、また教師の現場負担が下がりその分子どもたちにも目を配る余力が生まれる好循環が生まれると考えます。まずは大きな目標を立てるのを止め、一週間で達成できる小さな目標を立て1つ1つクリアしていく(週1スプリント)から始めていくなど、変えられる部分はいくらでもあると思います。教師や学校が楽になり更に質が高まり利益が高まる方向へ舵を取ってもらいたい。その成果がでた先にはその成果を外部へも発信し他の学校にも技術情報を共有するような学校になっていける可能性を秘めていると思います。まずは現場作業で何が負担になっているのかを1つ1つピックアップして改善していくところから。 担任の先生から、夏休みと冬休みには毎年暑中見舞い、年賀状をいただき、お気遣い大変ありがたく思っている。が、教員の働き方改革を推進するうえで、廃止したほうがよいのではないかと。
→学校からの回答	<p>あたたかく建設的なご意見・お言葉を多分にいただき、心より感謝申し上げます。保護者の皆様に、あたたかな視点で本校の学校教育や教職員をお見守りいただいておりますこと、本当に励みになります。ありがとうございます。教職員の働き方改革は本校でも課題となっているところです。教職員が一人で抱え込まず、相談しやすい仕組みを作り、業務を効率化させていくことで保護者の皆様との連携も回りやすくなることに繋がると、思いを新たにしております。どうか学校の教職員は忙しいからと躊躇せず、何かありましたらどうぞご相談ください。保護者の皆様からのご意見が学校改善のヒントになります。</p> <p>なお、児童や教職員の個人が特定される恐れのあるご意見については掲載を控えさせていただきました。学校教育においては、子どもと教員、保護者と教員との信頼関係の構築は欠かせないものですし、子ども同士の豊かな人間関係を育む学級経営ができるように努力しております。もし、学校での指導や対応に疑問やご意見等ありましたら直接お話を伺いたいと思います。ぜひ、ご来校ください。</p>
8 学校公開について	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開へ行ける人数を増やしてもいいのではないかと思います。(小さい子供を含め) 学校公開を見ていて、教員が1人では少ないと感じている。学校公開は土曜日じゃない日も可にして、保護者がお手伝いとして参加するような仕組みづくりはできないか。
→学校からの回答	<p>ご意見ありがとうございます。教員が1名では足りない場合は、平日は学校生活支援員、土曜日は他の教員がサポートに入るようにしております。平日に保護者の皆様にお手伝いいただけることは大変有難いことです。ぜひ、お申し出ください。</p> <p>また、3学期からは、一人で留守番ができない小さなお子様の同行につきまして、学校でもご相談に応じさせていただいております。授業参観時に、一度に入室できる人数につきましては、今後の感染状況や区からの通達を基に検討してまいります。</p>
9 宿題について	<ul style="list-style-type: none"> 宿題に異常に時間がかかっていることがあり、宿題の量の妥当性に疑問を感じることもある。
→学校からの回答	<p>本校では、各学年とも宿題については学級による差異を生じさせないように、相談して量や内容を決めています。</p> <p>もし、宿題の量が多すぎてお困りの場合は、個別に担任までご相談ください。</p>

10 PTAについて	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの仕事の見直しが着手され、嬉しく思います。個々の仕事量を見直し、スリム化すれば、ポイント制を廃止してもボランティアだけで成り立つのではと思います。 ・PTAの組織改革を検討しているようですが、ぜひ時代に即した内容にしてください。学校側も主体的に改革に関わってほしいです。家庭の在り方も多様化していますし、共働き・介護・育児・闘病等いろいろな事情があるにも関わらず、PTAだけが専業主婦の存在を前提にしたような活動内容のまま、家庭の負担が大きいものになっていることを学校側も認識してほしいです。ポイント制を導入しているため、委員になったご家庭に1年間負担がいくことになることから、子どものための組織であるはずなのに、「低学年のうちに委員をやっておくとラク」「コロナ禍はイベントがないので、今のうちに委員をやっておくとラク」というような本来の趣旨とは外れた話しが回っています。また、保護者懇談会の最中にポイント確認の書類が回ってきますが、そもそも懇談会に集中できないですし、個人情報の観点からもそのようなやり方は疑問です。ですので、ポイント制を廃止し、ボランティア制にすることを検討してはどうかと思います。 ・学校側もPTAのお手伝いがあることを前提とした行事計画になっているようですが、仮にボランティアが集まらないイベントがあるとしたら、それはニーズのないイベントという整理もできると思います。いろいろな事情がある家庭でも子どものために無理なく参加できる今日的な組織にしてほしいです。
→学校からの回答	<p>向山小学校 PTA の皆様には、日頃から多くのお力添えいただき、心より感謝申し上げます。いつもありがとうございます。また、今年度はPTAの活動の全面的な見直しを図り、ポイント表彰の廃止、学級代表委員会の廃止、広報委員会の廃止等、大きな改革をしていただきました。PTAは本来、子どもたちのために行われる活動です。もし、活動内容に疑問があったり、活動方法に改善の余地があったりするのであれば、ぜひPTA役員に直接お伝えいただきたいと思います。</p>
11 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の学校滞在時間が長すぎるように思います。都立高校では、6時間目が15時に終了します。休み時間など小学校と高校では異なるので単純に比較はできないと思いますが。 ・水着等の持ち物について、学校のプリントに記載している内容を頼りに準備したにも関わらず、あとから「そのタイプのもは推奨していない」と言われることがありました。推奨していないものがあるならきちんと記載するか、学校で一括購入してほしいです。
→学校からの回答	<p>情報いただきまして、ありがとうございます。基本的に小学校では中休み、昼休み、清掃時間等をしっかりと確保したり、朝の会や集会活動を行ったりしていることが、高等学校より6校時の終了時刻が遅くなっている理由であると考えられます。本校でも次年度に向けて学校の生活時程を検討中です。</p> <p>ご準備いただいた後でご迷惑がかかってしまい、申し訳ありませんでした。昨年度の水泳指導は、ほとんど入ることができない状況であり、水着については新たに用意していただくことはせず、ご家庭にあるもので実施いたしました。今年度の水泳指導では、イラストの形状の水着を推奨するということでした。また、脱ぎ着しやすいセパレートタイプも販売が始まりました。今後とも不明な点等ありましたら学校にご相談ください。</p>